

- ・「健康勘定からの受入」には、保健事業経費及び福祉施設事業経費等の財源受入額を計上している。
 - ・「年金勘定からの受入」には、福祉施設費等財源受入額を計上している。
 - ・「前年度剰余金受入」には、前年度決算上の剰余金の受入額を計上している。
 - ・「特別保健福祉事業資金からの受入」には、特別保健福祉事業の財源に充てるため、特別保健福祉事業より受け入れた額を計上している。
 - ・「人件費」には、職員に係る人件費を計上している。
 - ・「補助金等」には、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第2条第1項に規定する補助金等を計上している。
 - ・「委託費」には、補助金等に該当しない、対価性のある委託費及び交付金等を計上している。
 - ・「年金資金運用資金への交付金」には、年金資金運用基金の業務に要する費用として交付した額を計上している。
 - ・「運営費交付金」には、独立行政法人通則法第46条に基づき、独立行政法人に交付した運営費交付金を計上している。
 - ・「児童手当勘定への繰入」には、厚生保険特別会計法第6条の規定により、児童手当拠出金収入を児童手当勘定へ繰り入れる額を計上している。
 - ・「船員保険特別会計への繰入」には、厚生保険特別会計法附則第19条第2項第3号の規定に基づく特別保健福祉事業費の船員保険特別会計への繰入額を計上している。
 - ・「一般会計への繰入」には、業務取扱費に係る一般会計への繰入額を計上している。
 - ・「出資による支出」には、特殊法人等への出資額を計上している。
 - ・「庁費等の支出」には、庁費及び電子計算機等借料等の物件費を計上している。
 - ・「その他の支出」には、旅費、賠償償還及び払戻金等の経費を計上している。
 - ・「土地に係る支出」には、土地の計上に繋がる支出額を計上している。
 - ・「建物に係る支出」には、建物の計上に繋がる支出額を計上している。
 - ・「工作物に係る支出」には、工作物の計上に繋がる支出額を計上している。
 - ・「資金への繰入」には、決算処理による資金への繰入額を計上している。
- ④ その他財務書類の内容を理解するために特に必要と考えられる情報
- ・ 単位未満の計数の切り捨て及び100万円未満の計数の表示等
金額の単位は100万円単位とし、単位未満は切り捨てているため、合計は一致しないことがある。
100万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「－」で表示している。

附属明細書

(単位：百万円)

1. 貸借対照表項目に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 現金・預金の明細

内容	本年度末残高	説明
日本銀行預金	42,364	元受分
財政融資資金預託金	1,502,304	
合 計	1,544,668	

② 未収金の明細

内容	相手先	本年度末残高
児童手当拠出金	事業主	1,780
その他		108,400
合計		110,180